

平成14年度 春学期島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

【リレー講座】 会場：講義・研究棟 中講義室3

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	今岡日出紀	世界、北東アジア、そして日本 —島根の視点から—	直接投資企業による国際的な生産ネットワークの進展に伴い、日本と北東アジアの国々との関係も変化しつつあります。北東アジア各国の地方が直接に関係をもち競争しながら発展の契機を見つける時代となっています。島根の発展戦略について展望します。	6/1 (土) 15:00~16:30
2	三本松 進	イノベーション指向の地域 経済社会の構築に向けて	21世紀のマクロ経済、IT・イノベーション、中国・北東アジア経済における課題と島根地域の知識経済時代化時代におけるイノベーションの方向を展望します。	6/8 (土) 15:00~16:30
3	朴 容寛	写真で見る韓国社会・日本 社会	韓国と日本の自然風景、人々、衣・食・住、町、宗教などに関する写真を通して日韓の社会文化を比較し、日韓親善の道を探ります。	6/15 (土) 15:00~16:30
4	豊田 有恒 李 涼煥 朴 容寛 大橋 敏博	島根の未来（あした）を見据えた日韓関係と今後の展望 (パネルディスカッション)	<b>パネルディスカッション</b> これまでの北東アジアにおける文化交流は、一つは日本海、もう一つは東シナ海を舞台として行われたものであり、日本の文化形成に有形・無形の影響を与えてきています。わが国の隣国であり歴史的文化的に関係の深い韓国との相互理解の一層の推進と島根を中心とした明日の日韓関係はどうあるべきかを展望します。	6/22 (土) 15:00~16:30
5	豊田 有恒 李 涼煥 朴 容寛 瓜生 忠久			6/22 (土) 15:00~16:30
6	唐 燕霞	中国の国有企業改革と労働 雇用・社会保障システムの変容	1978年以降の中国改革・開放政策は高度な経済成長をもたらしただけでなく、経済構造・社会構造を根底から変革しようとしています。中国の三大改革の一つである国有企業改革を取り上げその改革に伴う労働雇用システムと社会保障制度の変化を明らかにします。	7/6 (土) 15:00~16:30
7	瓜生 忠久	映像は未来（あした）を語 れるか	映画・テレビ放送、ビデオ出版、次世代型情報通信などの「映像ワールド」では多種多様な「文化創造」が行われています。このような手段を駆使することで、島根と日本の未来（あした）を語れるか、考えます。	7/13 (土) 15:00~16:30
8	増田 祐司	豊かな未来（あした）に向 かう島根と北東アジア	いま北東アジアは、世界のなかでの位置と役割が大きく変容し拡大しています。北東アジアは、世界経済のなかで欧州・米州に並ぶ地域経済圏を構成し、日本経済は知識経済化のなかで高機能エンジンの役割を果たし、島根は豊かな地域に向かおうとしています。	7/27 (土) 15:00~16:30